

立檜 ～習慣は力なり～

旭川永嶺高校
進路指導部通信
1・2・3年次版
令和6年7月2日
(文責 吉田)

●中間考査終了、学校祭までもう少し

学校祭期間です。夏近し。3年次は最後の夏。1、2年次はまだまだ挑戦の夏。時にはぶつかることもあるけれど、準備や練習を通じて何かを得ることができるはず。個人それぞれはもちろん、仲間と何かに向かって頑張ってください。自身の個性を磨くチャンス。頑張った経験は、きっと何かに活かすことができますよ。

今回は1、2、3年次合同号としました。この時期の大きな流れを掴んでくれたら幸いです。進路の手引きも手元に届きます、見通し表を開いて3年分の夏をイメージしよう。

●学校祭後は模試シーズン

3年次生～ 夏休み最後からシーズン開始です。いよいよ本番モードに突入です。既卒者に加え、春は部活動に集中していた生徒も参入しますので、本番同様の母集団と考えよう。受験本番の「初戦」と考えて良いと思います。夏休みの勉強が鍵です！

1・2年次生～ すぐに模擬試験があります。7/15に進研総合学力テスト（通称：7月進研）。忙しい中でも少しずつ積み上げをしていこう。切り替え、メリハリ、隙間時間を作る習慣作りをこころがけよう。この模試は、全国の高校生が受験する大規模な試験です。大学志望も基準にして、自身の全国における現状や、過去の卒業生との比較の材料になります。つまり「今の實力はどれくらい？」を客観的にみる機会。2年次生は「自身の伸び」を見る機会なのです。すでに授業などで模擬試験の過去問を目にしていると思います。日々の学習と、試験との「つながり」を意識しよう。

●天王山の夏休み

夏を制する者は受験を制する、と言われる。夏休みにしっかり勉強しておけば、合格へ近づくと、いう事です。

3年次生～ 進学希望者は何をするか。8月の模試を初戦としました。本番形式の問題はそこで味わうことにして、ここは形式に振り回されず、苦手箇所をできるだけ対策。直前に受けた模試を眺めてみよう。部活動が忙しかった人は2年2月模試でも良いです。改めて見るとまた違って感じるはずですので、一度やり直してみてください。できない時は、焦りをグッと堪え、まずは落ち着く。弱点を克服。本番さながらの内容は、秋からいくらかでもやってきます。

じっくりと夏を活かすためには、「内容のバランス」を考えて勉強しよう。何を、何のためにやっているかが、迷うこともあるので、本番形式(A)と苦手&基礎(B)の配分を意識しよう。内容によって、やる時間帯や場所を分けるなど工夫をしてみよう。

公務員を筆頭に就職希望者は本番直前。適性検査に過去問対策。繰り返し、繰り返し。ラストスパート。がむしゃらに進むのみですね。

高校時代の勉強はその先まで影響します。今の勉強は、この先の、そのまた先の勉強をラクにするためのもの。それぞれ立ち位置は違うけれど、みんなで進もう。頑張れチーム永嶺生。

(ウラにつづく)

1・2年次生～ ここで見直しです。一定期間の確認の機会としましょう。各年次の前半戦を振り返り、基礎の補強と苦手の克服をしよう。中長期的に見てこんな感じでしょうか。

1年次スタート → 夏で見直し → 冬で見直し → 2年次へ
2年次スタート → 夏で見直し → 冬で見直し → 3年次へ
3年次スタート → 最後の夏 → 本番モード

それぞれ、年2回の中間見直しがありますね。3年最後の夏までとして、合計5回のじっくりモードが存在します。1年次生は1回目、2年次生は3回目。各回までをしっかりと終わらせると最後の夏は過去4回分の積み重ねに+1となります。RPGならイベント全てクリア、仲間を揃えた最強パーティー完成間近というところ。あとは各イベントの達成次第。短期的には定期テストを軸にして授業を大切にしていけばいいですね。高校生は忙しい。一息入れつつコツコツとやろう。

●夏期講習がはじまります。

夏季休業といえば講習です。こちらは予習や対策になることが多いでしょう。

3年次生は一足早くスタート。取りすぎ倒れにならないよう注意しつつ、積極的に挑んでいこう。新規として、小論文講習が別途企画されていますね。山形大学の三上先生による集中講義。例年、最後の最後に小論文が必要になりながら、「対策ゼロ」という人が必ずいます。まずは動いておくことが大切です。志望理由書の対策にもなりますよ。

内容のバランス維持に大切な、予習・復習の程度は教科で違うと思います。予習がない場合は自身の時間は復習タイムと考え、補強に使います。予習が多い場合は、講義中の吸収を多めにしよう。講習の前後どちらかに、1コマ自分で作るイメージで家庭学習を。時間割や記録をとるなどして、学習のリズム作りに活用しよう。

●オープンキャンパスに行こう。

勉強だけでは苦しい。せっかくの夏休み、オープンキャンパスに行きましょう。最近は学校祭を夏に持ってきている大学も増えて、楽しいイベントです。もちろん入試情報もしっかり入手、最近は合格対策講習会も行われています。注意点は以下。

- ・国公立大学は、開催日が多くないのでチャンスを逃さない。申込メ切や人数にも注意。
- ・保護者の方にも一度は見てもらい、複数学校で検討しよう。

最後の一押し3年次生。これからの1・2年次生。どちらも自身の目で確かめることが大切です。3年次生の推薦、総合型の希望者は3者面談を通じて最終進路決定になります。しっかり考えよう。とはいえ、焦って決めようとしないこと。一般入試まで頑張って、そこに行きたい！という場所を探すこと。好きを貫ける場所を探しにいこう。

夏季休業 7月26日(金)～8月20日(火)

3年次夏期講習	7/18～7/21、7/24～8/1、8/7～8/9	
3年次小論文講習	8/2～4 (於 大雪クリスタルホール)	
1・2年次夏期講習	7/26～7/30	
3年次模擬試験	7/15 (月祝)	公務員公開模試
	7/27 (土)	公務員模試⑥
	8/17 (土)	全統共通テスト模試②-1、小論文模試②
	8/18 (日)	全統共通テスト模試②-2
	8/24 (土)	全統記述模試②、大学看護共通模試②
1・2年次模擬試験	7/15 (月祝)	ベネッセ総合学力テスト

